



昨年(平成27年)、リーダーを託されたのは蕪木校長先生。埼玉県教育行政の要職、東京の私立中高の校長職を歴任した頼もしいエキスパートが、イノベーションを先導。明日に向かって始動。埼玉平成は、他校とにじまず、旗印は、より鮮やかに際立ちはじめました。

中高一貫部は少人数校。個々に寄り添い、手厚く導くファミリーです。改革を成し遂げながら、あたたかい気風は守り継がれるでしょう。

ここでは保護者もファミリーの一員です。先生方と心を合わせて、わが子を育て上げるステージです。ご家庭の皆さんとともに、生い立つ子どもたちの姿に喜びたい。平成イノベーションに込められた学園の想いに応えましょう。

手厚く導くファミリー

Learn By Doing ～為すことによって学ぶ

中1の一学期、舞台は藝科の高原。湿原や森林に目を凝らしてリサーチ。レポートにまとめあげてプレゼンテーション。「山と川のフィールドワーク」は、未来を拓く第一歩です。

建学の精神は、「為すことによって学ぶ」。教室に閉じこもらずに、社会や自然を駆け巡り、本物を体感しながら学びます。スケジュール表には数々のイベントが並びます。私学の基準で比べても驚くほど。前途を探し当てるチャンスが連なります。

中3の初夏のころ、旅立つ先は南半球。オーストラリアの大地です。広大な農場にステイ。現地の仲間と親しみます。埼玉で覚えた英語が伝われば嬉しい。学ぶ志気がわきおこります。満天の星空を見上げて、青い海を見晴らせば、未来の視界が広がるでしょう。

狭いところで庇い守るだけでは、エネルギーが枯れてしまいます。冒険しよう。開拓しよう。平成ファミリーは、気丈な心意気を培います。

＋アクティブに社会を体得する

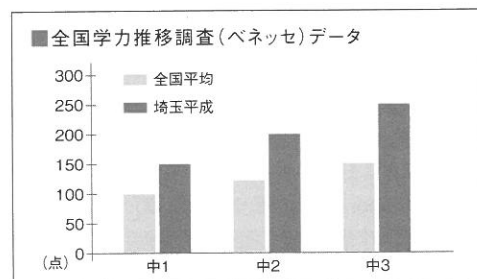
コンピューターのシミュレーションプログラム(CAPS)を導入。生徒諸君はグループに分かれて仮想の企業を設立。業績を競いあいます。仕入れ値は?売価は?設備投資は?リアルな経営プロセスに真剣。皆の頭脳はアクティブです。

12歳の子どもたち、伸びるのはこれから

埼玉平成は、完成した秀才を募る私学ではありません。迎えた子どもたちの自力を信じて支援。たとえ、12歳でうつむいていても、すぐさま面持ちは晴れやかです。

学力向上は、模試のデータが証明しています。どうやって伸ばしているのか?他校の先生が視察に訪れるほど。奇をてらう教授手法は見当たりません。先生は、日々の授業を大切に。常に一人ひとりに目を配って、臨機に手をさしのべます。師弟が密に関わるから伸びる。21世紀の学校も先生の心構えは同じです。

生徒は、日々、勤勉に努めます。小さな達成を丁寧に積み重ねます。



武蔵野の奥に、キラリと輝く私学



昨今、知識を蓄え・技能を磨き、さらに、思考力・判断力・表現力を育もうということが大学入試改革のスローガンということになっています。おのおの「力」を各論として論じがちですが、埼玉平成は、教育主題を鳥瞰して、清々しいメッセージを発信します。

6年間を貫き言語能力を鍛えよう!

知識は文章化されています。思考、判断、表現のプロセスは、すべて言葉を介します。読み解く力。使いこなす力。その錬磨をもって、「21世紀型教育」はまっとうできる。「言葉に強い学校」を築いて、賢明な共感者を募ります。

乳児は、文法を教えずとも母国語をマスターします。人類だけに与えられた特別な資質です。言語能力は「人間として」生きるための礎だからです。生命力があふれだすとき、心身が劇的に伸びるとき、幼児から大人へ羽化するとき、最重要課題は「言葉」。埼玉平成に、学校教育の本道を学びます。



「言葉」それは埼玉平成の学校哲学

知的活動はもちろん、人間は感情表現から日常生活にいたり、言葉を用いています。独りで物想うときも「言語活動」です。つまり、言葉は「人間力」の源です。埼玉平成はそんな哲学を持った学校です。

言葉に強い子どもたち

学園生活の全域が「言語教育」

埼玉平成の在校生諸君は、全員が「日本語検定」に挑みます。「漢字」「文法」「敬語」「語彙」「表記」「言葉の意味」の六つのテーマを軸に総合的な力と技を試みます。漢字に限る検定とは一線を画します。先を急がず小4レベルの6級から手堅くクリア。達成感を積み重ねます。丁寧に育てる私学らしい。中3時には、約1/4の生徒が3級(高校卒業レベル)をパスします。

国語科の授業のうち1時間が検定対策です。ただし、検定は、あくまで指針。合格だけが目的ではありません。

全授業で、生徒へ問いかけます。個々の頭の内の言葉を温めます。発言するときは、ルーズなおしゃべりに陥らず、論理的な文脈を求めます。意見を述べるときは起立。埼玉平成に息づく文化です。ことさら、弁論大会を設けなくても、毎時間が、「人前で語る」トレーニングです。イベントが終われば、その都度、所感を原稿用紙に記します。彼らは、執筆を恐れません。

家族のような私学では、師弟が親密。和やかに語りあうときは、言語能力を振るわせる好機。思考・判断・表現を励まします。

言葉に強い学校では、学園生活の全域が言語教育です。

検定問題にチャレンジしてみましょう! 保護者の皆さまの日本語レベルは何級でしょうか?

日本語検定 検索 <http://www.nihongokentei.jp/>

主催:日本語検定委員会(特定非営利活動法人)
特別協賛:読売新聞社/協賛:時事通信社・東京書籍/後援:文部科学省(ほか)

英語は世界語。言葉に強い学校が、力を注ぐのは当然。

放課後は、「English Station」と名付けた部屋が賑やかです。ネイティブスピーカーの先生が生徒を招いて歓談。ソファに腰掛けて歓談するシーンは、本物のファミリーのよう。趣味を披露するときには嬉々として、自ずと英語が弾みます。先生のお国のトピックに興味津々。自ずと耳を澄まします。もちろん、英語のレッスンでは、懸命に読みます。力強く書きます。4技能のすべてを高めます。

主題は、日本語の学びと同じ。英語学習は総合的言語能力の育成の一環。言葉に強い学校は、今後、ますます英語指導に心を込めます。

英検のステップアップが動き。中学課程終了時に3級取得が必達目標です。

母国語指導に長ければ、外国語指導も秀でる。

日本人は「以心伝心」を期待して、鋭い表現を控えます。互いに言外を慮るコミュニケーションは美徳として誇るべきでしょう。

しかしながら、主語や述語を省いても通じあう民族は特異。しばしば、外国語を使うべきときに口ごもります。論理構築に弱い。婉曲な言い回しが多い。客観事実伝達に不向き。日本語堪能な外国人でさえ首をかきげます。

埼玉平成の先生は、文法、語彙、そして文化における日英の差異を明確に意識します。日本語指導を極める私学は、その欠点を心得ています。まず、日本語で、英語同様に理論立てて伝える術を授けます。同時に、主張が他者と異なっても、「私は考える」と、S+Vを明らかに語り、「Because～」を添える習わしを教えます。

中学生になれば、母国語を基に外国語を学びます。唐突に文法や単語を積みかけてしまえば、戸惑うだけ。言葉に強い学校は「橋渡し」を重んじます。

源流は昭和59年(1984年)創設の埼玉女子高等学校。平成9年(1997年)埼玉平成中学校が誕生。武蔵野の四季の彩りに包まれる校地は広々。スクールライフは爽快です。私学が数少ないところであって、あたたかい輝きを放ちつつけてほしい。ムーヴの願いです。

埼玉平成中学校 <http://www.saitamaheisei.ed.jp/>

〒350-0435 埼玉県入間郡毛呂山町下川原375 TEL.049-294-8080 FAX.049-294-8050

アクセス

東武越生線「川角」駅 徒歩7分

◆スクールバス経路
西武池袋線「入間市」→西武新宿線「狭山市」→JR川越線「武蔵高萩」→学校
JR青梅線「河辺」→西武池袋線「飯能」→JR川越線「八高線」高麗川→学校

■学校説明会
9月10日(土) 10:00~11:30
10月8日(土) 10:00~11:30
11月5日(土) 14:00~15:30
12月3日(土) 10:00~11:30

■せりりゅう祭(文化祭)
9月9日(金) 13:00~15:00
9月10日(土) 9:00~15:00

■体育祭
9月17日(土) 9:00~15:00

■合唱コンクール
11月12日(土) 10:00~12:00